

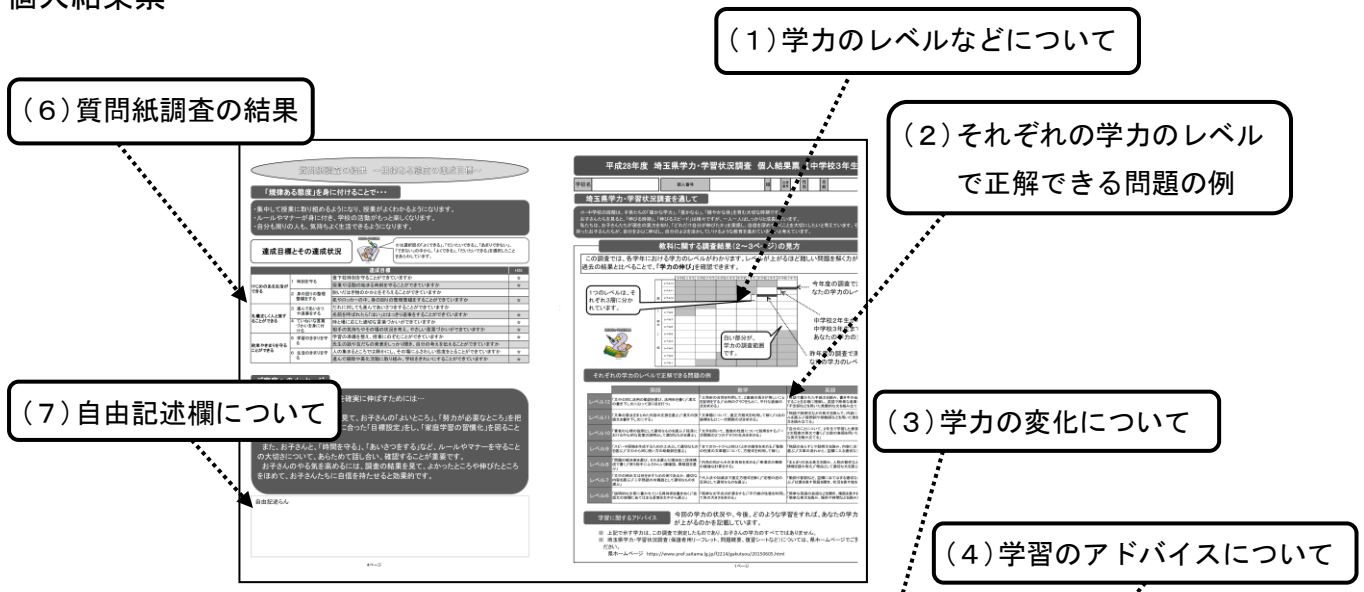
### 3 個人結果票について

県教育委員会では、県内公立小・中学校の小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒一人一人の学力の経年変化（伸び）を把握することで、子供たちが現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めさせるとともに、一人一人の学力が向上するよう、新たな県学力・学習状況調査を平成27年度からスタートしました。

「個人結果票」は、児童生徒一人一人の調査結果を、子供たちや保護者、先生方にお知らせするものです。

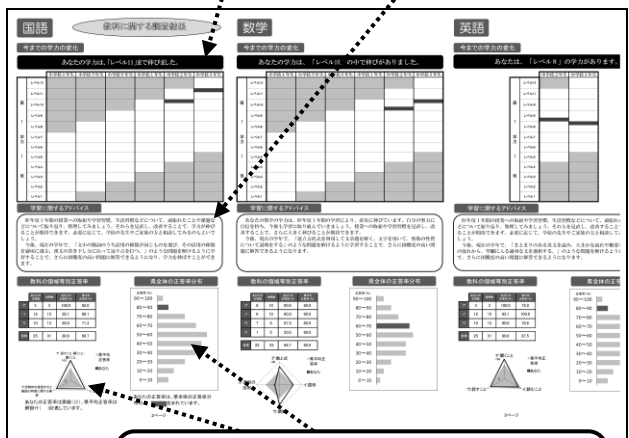
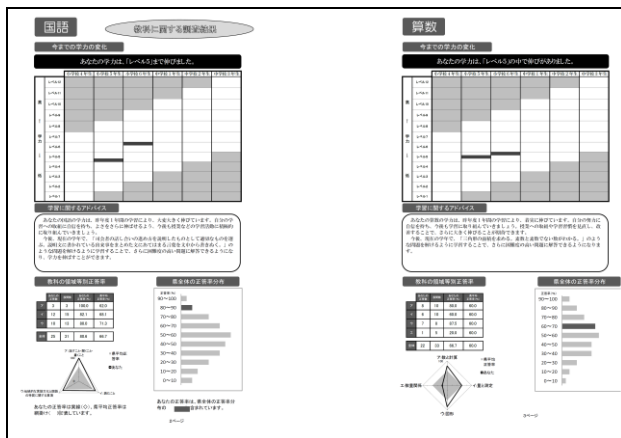
特に、今年度は、2回目の調査が終了したことで、初めて、「学力の伸び」を把握することができました。そこで、「学力の伸び」を調査結果として分かりやすく示すため、新たな概念として「学力のレベル」を定めています。

#### 個人結果票



【小学校及び中学校1年生用】国語、算数・数学

【中学校用】国語、数学、英語



(5) 教科の領域等別正答率 県全体の正答率分布

教科の領域等別正答率 県全体の正答率分布

### (1) 学力のレベルについて

学力のレベルはバーの位置で表しています。学力のレベル標記は、1～12段階ありますが、測定は各学年7レベルの間で行います。前学年でのバーの位置と、今回のバーの位置を比べると、学力の変化が分かります。1つのレベルは、それぞれ3層に分かれていて、同じレベルの中でのスモールステップの伸びを表します。個々の学力の変化の見取りに活用してください。

### (2) それぞれの学力のレベルで正解できる問題の例

学力のレベルに応じて、出題された問題の概要を示しています。

該当の学力レベルで「正解できる」とは、約70%の確率で正解できることを示しています。個々の児童生徒が正答できる問題の目安としてください。

### (3) 学力の変化について

「学力の伸び」が見られた場合、子供たち一人一人の1年間のがんばりを認めたり、褒めたりすることで、子供たちが自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるような言葉かけをしてください。

学力の位置が前年度と同じ、または前年度より下がった場合は「授業への取組」「学習習慣」でのつまずきや、「家庭や友人関係」「生活習慣」などに悩みを抱えている可能性があります。個々の学習方法や生活上の悩みの聞き取り、教育相談などを行うことで、子供の状況を把握し、助言し、その後の取組等を見届けるなど十分な支援を行ってください。

### (4) 学習に関するアドバイス

アドバイスは2段構成になっています。上段では、児童生徒の学力の状況について説明し、下段では、さらに学力を伸ばすためには、現在の学年でどのような学習に力を入れることが効果的であるかを記載しています。子供たちの現状や要望に応じて面談などを行い、つまずきや課題を共有しつつ、よいところを認め、子供たちが自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるよう働きかけてください。

### (5) 教科の領域別正答率及び県全体の正答率分布

「教科の領域等別正答率」には、領域ごとの正答数、問題数、正答率を県全体の平均も併せて記載しています。「県全体の正答率分布」は、県全体におけるおおよその位置が分かるようになっています。ただし、本調査の目的は、児童生徒一人一人の「学力の伸び」や変化を把握してよさを伸ばしていくことにありますので、県全体の中での位置に重きを置いた働きかけや指導は控え、あくまで参考として御活用ください。

### (6) 「質問紙調査の結果～規律ある態度の達成目標～」

規律ある態度の達成目標について、児童生徒の回答状況を示しています。

### (7) 自由記述欄

夏季休業中の学習計画や取組などについて児童生徒が記入し、担任が確認して返却する、保護者ががんばりを認めるコメントを記入してもらい、担任がコメントを記載しておく等に活用できます。

### ※ 個人結果票の返却について

児童生徒の調査結果を予め御覧いただき、児童生徒一人一人について、がんばりを認めること、褒めることを中心に結果の見取りを行い、一人一人の児童生徒のよさや課題を伝えてください。